

パラナ通信 # 7 -2020 年秋-

総評 (2020 年 JPIP-B)

翻訳監修者 真鍋 俊明

相変わらず、我が国では新型コロナウイルス感染が収まらず、変異株 (VOC-202012/01、E484K や N501Y) も加わって第四波を迎えた状態になっています。皆様、如何お過ごしでしょうか。

本総評を書こうと机に向う前に、新聞やテレビで、Jリーグでスタジアムでの試合開催の是非を判断するために選手やスタッフの抗原検査を実施することが決められたことや老人施設に訪問する家族にその場で抗原検査を行うなどのニュースを知りました。尤も、前者では観客に対しても行うとの記載はありませんでした。前回の総評内で、ウイルス検査のいくつかを紹介し、それぞれの特徴とその費用対効果、抗原検査の使用方法について触れました。最近、各検査法の使い方について少し理解されてきたのかなと思わせるのですが、未だにコロナに関しての報道の中には十分に理解して述べたとは思えないような偏向したものが目立ちますし、事実に反するような情報が提供されていたり、解釈が誤っているとしか思えないようなものが多くあるのが現状のようです。先日、峰宗太郎氏と山中浩之氏の「新型コロナとワクチン 知らない和不都合な真実」(日経プレミアシリーズ)を読みました。実に分かり易くコロナウイルスやワクチンのこと、検査の種類やそれらをどう使ったらよいのか、検査前確率の意義などについて書かれていました。こういった本を熟読理解して欲しいなと思いました。著者は病理医らしいのですが、勿論私とは全く面識はありませんので、利害関係なくご一読をお勧めします。

ついでながら、このコロナ禍の自宅滞在が多くなった時間に読んだ本のいくつかを紹介したいと思います。その中の一つに、2001年のノーベル生理学・医学賞を受賞したポール・ナースが書いた「生命とは何か」(竹内薫訳、ダイヤモンド社)があります。私は以前、拙著「目からウロコの病理学総論 『生命』から見た病気の成り立ち」の中で、生命体は進化の過程の中で、それぞれ違った界から始まりやがて属や種へと別れていき、それぞれの個体は互いに環境との間であるいは他の個体との間で対立を生じてきたこと、その場合に互いに共存共栄(共生)を図る道を選択したり、隔離や分解・排除、逃亡の道を取ったり、戦いの道を選んできたことを書きました。この「生命とは何か」という本の中では、『生命とは自然淘汰を通じて進化する能力を有するものであり、その環境とコミュニケーションがとれ、科学的、物理的、情動的な機械として代謝を構築しそれを利用して自らの維持、成長、再生を行うもの』と規定していました。さらには、『感染症との戦いは、我々が決して完全には勝利することのない戦いでもある。それは自然淘汰による進化が原因だ。細菌とウイルスの大半は急速に増殖し、遺伝子も迅速に順応する』とありました。確かにウイルスは生命体の進化の過程を促進させてもきました。しかし、ヒトそのものでは進化スピードは遅いものの、それを促進させる手段を自らが作り出すことができる

生命体へと進化してきたとも言え、それがヒトの最大の利点と思っています。ナースは、『最初の生命体としての細胞は、単細胞の微生物で、世界中に広まり、海や陸や空に定着した』『すべての生命体はみな、生存競争を生き抜いた偉大な同士だ』『我々は、地球の生命に対して、特別な責任を負っている』とも書いています。諸行無常。諸法無我。同じ祖先を元としながら異なった生命体ができそれぞれが生存をかけて戦うようになってきている運命。適者のみが生存できる世界。ついつい、明治天皇の御製『よもの海 みなはらからと 思う世に など波風の たちさわぐらむ』を思い出してしまいました。

蛇足ながら紹介させていただきます。皆様の多くがご存知と思いますが、国際病理アカデミー (IAP) 会報の編集長であるオーストラリアの Robin A Cooke 先生が感染症の本の改訂版を先月出版されました。今回は 2 分冊となったうちの「2. 寄生虫疾患」

(INFECTIOUS DISEASES – VOL2 – PARASITIC, Knowledge Books and Software, 2021) のみの先行出版です。先月書評を依頼され読みましたが、ほぼ全面改訂で、箇条書き風の形式をとりより分かり易く、症例提示の項はまるで探偵小説を読み進んでいくようです。それぞれの疾患の発見者などについてのエッセーも非常に興味深く端的に書かれています。コロナ収束後には再び盛んになると思われる世界中の人的交流は輸入感染症としていろいろな寄生虫疾患を経験することになると予想されます。英語も読み易く、このステイホーム期間中に読む本としてお勧めです。

(JPIPB 2020 総評のエッセーから引用)